

History

Over 70 years of Innovation

| | | | |
|---|--|--|---|
| <p>戦後復興の時代、高品質な制御機器の製造・販売を開始</p> | <p>制御機器の総合メーカーとなり、グローバルビジネスを拡大</p> | <p>「人と機械の最適環境」を創造する製品開発</p> | <p>「IDEC」として新たな成長を目指す</p> |
|  <p>設立当時の店舗 SB形金属箱開閉器</p> <p>創業者の船木 恒雄 (現・名誉会長)</p> <p>IDECは、終戦の年である1945年に「和泉商会」として創業しました。創業当初は電気器具の小売、販売を行っていましたが、当時機械設備などに欠かせない各種開閉器が不足していたことに着目し、高品質の開閉器を開発。産業界からの高い評価を受け、規格に厳しい駐留米軍の指定品となるなどロングセラー製品となり、繊維・化学工場、石油コンビナートなどで活躍する防爆機器とともに、戦後復興のものづくりを支えました。</p> |  <p>初の海外拠点となる台湾和泉精機 (現・台湾愛徳克)</p> <p>IEC規格に準拠したコントロールユニット</p> <p>高度経済成長にともない、計測・制御技術のニーズが高まってきたことから、制御機器の製造・販売を始め、制御機器の総合メーカーへと転換しました。1970年以降、海外での子会社設立や、欧州の展示会への出展、海外優良企業との提携など、グローバルビジネスの展開を積極的に進めました。この時期、初めて国際規格であるIEC規格に準拠するコントロールユニットを発売。今も売れ続ける大ヒット製品となりました。</p> |  <p>滝野事業所に導入されたロボット制御セル生産システム</p> <p>イネーブルスイッチ 安全スイッチ</p> <p>業績は拡大を続け、1982年に株式上場を果たしました。1990年代以降、ものづくりの現場は、人と機械が共存するHMI (Human-Machine Interface) 環境が主流となってきたことから、生産性や安全性に配慮した機械・設備ニーズに応える製品として、国内初の安全スイッチやイネーブルスイッチを発売しました。2000年には、自動化・省力化を目的として、主力工場である滝野事業所に多品種変量生産を実現する、ロボット制御セル生産システムを導入しました。</p> |  <p>新本社／技術研究センター</p> <p>IDEC APEM</p> <p>2005年、創業60周年を機に「IDEC」へと社名変更し、コーポレートシンボルマークも刷新しました。2017年にはフランスのAPEM社を買収するなど、グローバルビジネスの強化を進めるとともに、社会的課題解決に貢献する新規事業の取り組みも行っています。IDECは、これまで培ってきた技術を活かし、協調安全ロボットシステムの普及促進や、農業の工業化への取り組みなどを推進していくことで、新しい可能性を創造し、100周年、さらにその先の未来に向けて成長を続けていきます。</p> |

| | | | | | | | |
|---|---|---|--|--|--|---|---|
| <p>1945 1958</p> <p>小形コントロールユニット</p> <p>徹底した小形化を図り、制御機器専門メーカーへの転換を図るきっかけとなった製品。</p>  | <p>1960</p> <p>耐圧防爆形コントロールボックス</p> <p>爆発危険性のある石油コンビナートなど、防爆機器を必要とする産業向けに発売。</p>  | <p>1972</p> <p>イエローリレー</p> <p>リレー分野に初めて参入。高い信頼性と長寿命を実現し、主力製品のひとつとなった。</p>  | <p>1989</p> <p>プログラマブル表示器</p> <p>表示デバイスに液晶を採用し、HDシリーズとして製品化。</p>  | <p>1993</p> <p>MICRO-1 プログラマブルコントローラ</p> <p>PC市場におけるマイクロコントローラ分野に先鞭をつけた製品として、業界で大きな話題となった。</p>  | <p>1993</p> <p>GaLF</p> <p>IDEC独自の加圧管路方式を採用した、微細気泡生成技術「GaLF (Gas Liquid Foam)」を発表。</p>  | <p>2011</p> <p>小形コントロールユニット「LBシリーズ」</p> <p>パネル奥行きが業界最短胴と薄形で、配線作業が容易な製品。</p>  | <p>2014</p> <p>プログラマブルコントローラ「FT1A形」</p> <p>ユーザーアプリケーションの省配線、省スペース、省工数に貢献する、表示器一体形のコントローラ。</p>  |
|---|---|---|--|--|--|---|---|